

「ワシントン州オリンピアに響く和太鼓の鎮魂と希望の音」

～ワシントン州事務所からの報告～

この7月12日、兵庫県を代表する和太鼓奏者の木村優一氏が、ワシントン州の州都オリンピア市(加東市の友好提携締結市)の近郊の3会場で公演及びワークショップを開催しました。

1日に3つのイベントを展開するハードスケジュール。午前中には、オリンピア近郊のレイシー市のセント・マーチンス大学内にてピアノ伴奏とのコラボ演奏や、書道家眞田千代氏が太鼓演奏に合わせて「鼓動」と書くパフォーマンスを披露、午後2時半からは、イエラム市内の図書館で子どもたちを対象にバケツを使った太鼓作りと太鼓演奏のワークショップ、午後6時からはオリンピア市のパーシバル・ランディング公園内で和太鼓演奏会を行いました。



イエラムプレーリー小学校ソコリック先生とのコラボ演奏

和太鼓演奏だけでなく、和太鼓の歴史や種類、作り方などの説明や、参加者が太鼓のたたき方を実習し、三三七拍子のリズムで実際に和太鼓をたたくなど体験型のイベントにいずれの会場でも参加者から素晴らしい、楽しいという声が聞かれました。

また、「阪神淡路大震災で亡くなった方々への鎮魂と復興への支援の感謝の意を表すため、海外での演奏を行っている」と話す木村氏の力と魂のこもった演奏に、参加者も兵庫に思いを馳せ、感動を禁じえない様子でした。



参加者が順に和太鼓を実演

今回のイベントは、当事務所のネットワークを活用して、オリンピア近郊に住む関係者と企画を練り、地元のボランティアの方々の協力を得て実現しました。

今後も、当時事務所では兵庫とワシントン州の交流のかけはしとなって日本文化のみならず兵庫の心を伝え、両地域を結ぶ事業を続けていきたいと思ひます。



子どもたちが自身で作った太鼓と一緒に演奏

※ 詳細についてのお問い合わせは

(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課 TEL 078-230-3267
交流・協力課 TEL 078-230-3090